

擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 12月13日(金) Vol.32

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」
「団結・協力を大切に」「命を大切に」

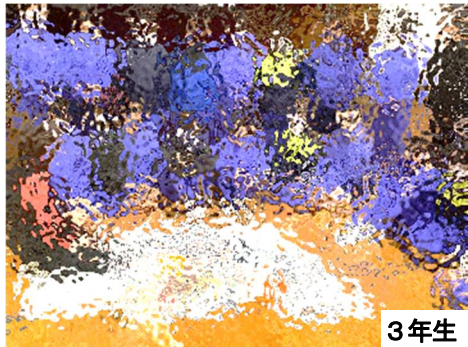


【ホームページへ】

自ら学ぶ・みんなで学ぶ

9日(月)と10日(火)の両日に渡り、毎年恒例の書き初め練習会が行われ、各学年とも講師の先生からご指導をいただきました。

各ご家庭には、1週間以上前から書写の用具の準備について、ご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、誰もが集中して練習に臨むことができました。



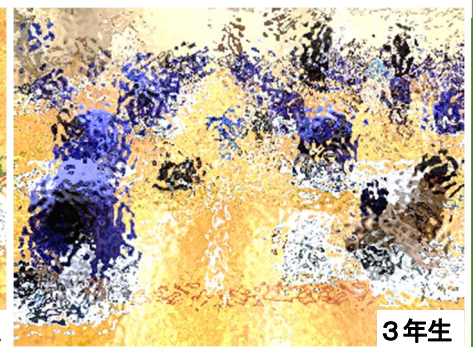
3年生

【実際に書いている様子を見せながら講義をします。流麗な筆さばきに目が釘付けです】



3年生

【先生の指導を基に、「早」という字を練習中……納得のいく形になりましたか?】



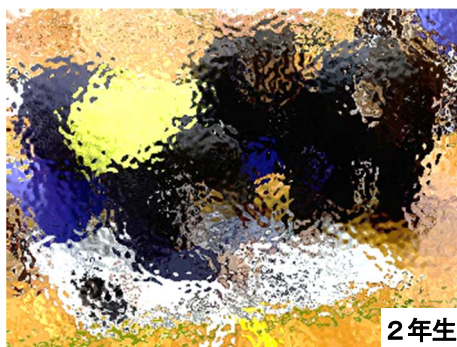
3年生

【仲間の存在は感じつつも、書いている最中は、自分の世界の中で作品に向き合います】



2年生

【講義の後は、声をかければ先生が来てくれて、個別に教えてくれます】



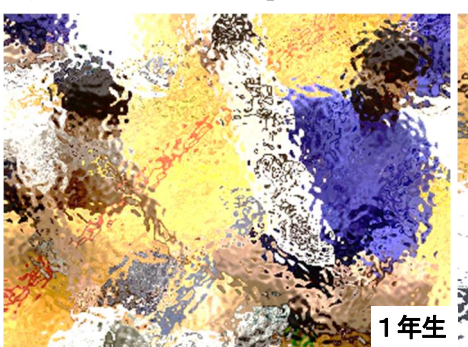
2年生

【「ここが難しそうだね」など先生の話を持ち返って、仲間と確認している人も】



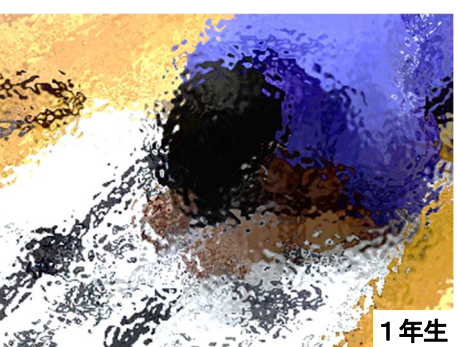
2年生

【書いている人の気が散らないようにそっとのぞき込む人と、それすら気にせず書く人】



1年生

【1枚書き上げましたね。集中して取り組んでいたの、丁寧に仕上げられました】



1年生

【作品が仕上がったところで、全神経を集中させて、名前を書きます。まさに画竜点睛】



1年生

【「の」の書き方を教える先生の周りに、いつの間にか生徒が集まってきました】

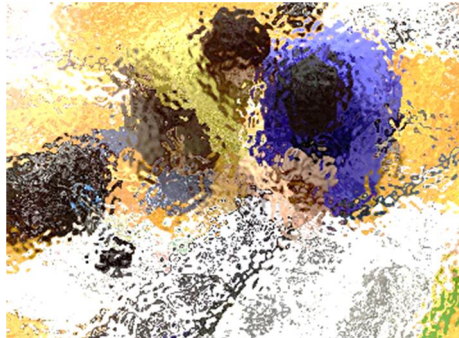
何度でも書き直しができ、いつでも気軽に質問することができる環境の中で、生徒たちは、時間の許す限り、それぞれの世界に向き合って、筆を滑らせていました。

会場のあちこちで、たくさんの生徒が、一枚書いてはため息をつき、首をかしげ、腕組みをして、うなっていました。書写の得意な生徒はもちろん、苦手だという生徒も、諦めずに書き続けており、個々の目標を目指して取り組む姿が健気で、応援したくなります。

一生懸命書いている生徒の様子を見ると、私自身の背筋も伸びるような気持ちになりました。普段は、

おしゃべりして笑っている友達が、真剣な表情で筆を握る姿を見て、刺激を受けたという生徒もいるでしょう。そして、あなたが真剣に取り組んでいる姿も、誰かの心を打ち、誰かの背中を押したのではないのでしょうか。頑張る人の姿は、感動的であるとともに、人を動かす原動力にもなります。これからも、自分の技術を磨くとともに、互いの真剣な態度を尊重し、高め合える機会を、大切にしてほしいものです。

【こんな場面もありました】



【「そうそう！その調子で！」〇〇先生に熱血アドバイスをもらいながら書いています】



【〇〇先生がしたための姿に、周囲の生徒は「うま！」「すげー…」と見とれるばかり】



【一筆一筆に願いを込めて、力強く「県大会出場」と〇〇先生。気合い入っています！】

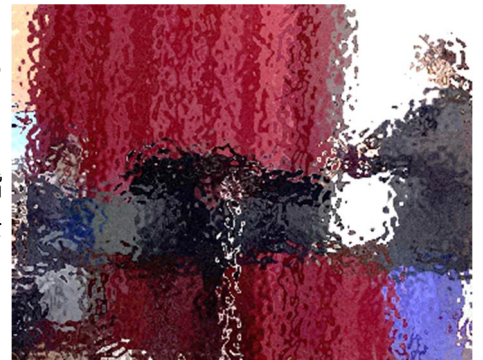
学校をよりよくするために

9日(月)、2回目の生徒集会が実施されました。2年生による指揮と伴奏で、校歌の斉唱から始まったこの日の集会は、委員会からの発表を中心に行いました。

各委員会は、学校生活の日常的な活動を支えています。校内の「縁の下の力持ち」のような存在ですが、毎日の生活の充実を目指して、各委員が目的意識を持って頑張っていることが、この集会を通して、改めて分かります。



放送委員会から、アーティストの人気投票を行うことや、昼の放送でリクエスト曲の募集などが伝えられました。給食を食べながら、「推し」の楽曲が流れるのを聴いて、喜びを爆発させる生徒や、そっと耳を傾けている生徒がいるのでしょうか。互いの好きなものを尊重し合い、給食の時間を楽しく過ごしていることと思います。



3クラスに表彰状を授与しました。

1位は3B、2位は3A、3位は1Aでした。順位は付いたものの、全校の合計は、146.84kgで、73.5本分ものワクチンになるそうです。まさに「ちりも積もれば山となる」ですね。こつこつと貯めた人や、声をかけて方々から集めてくれた人など、協力してくれた全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

一人ひとりの善意が地球を巡り、世界のどこかで、赤ちゃんの健康と、その家族の笑顔を守っているのです。

学習図書委員会からは、図書室の新しいイベントを告知。



12日(木)から20日(金)まで、本を紹介する「ブックカフェ」を開催すること。「現実逃避できる本」「かわいい本」などのメニューを選ぶと、それに見合った本を図書委員が紹介してくれます。水筒のお茶など飲みながら読書を楽しむこともできるとか。

探していた本を見つけ出すのが図書室ですが、ときには、誰から勧められたり、探している中で、たまたま見つけたりするなど、本と偶然出会う、というのも醍醐味ですね。また、市立図書館に開設された、「アオハル hiroba」の紹介もしてくれました。

この他、生徒会本部から、挨拶運動の状況についても報告がありました。これからも、自ら進んで、爽やかに明るく交わし合える学校づくりを進めていきましょう。

